

旅をあきらめない、旅をあきらめさせない！旅先での安全・快適な旅行介助のスキルと知識を習得することができます

滋賀・第一期生募集 2022年2月開催

滋賀開催

旅を通して、自分らしく、より豊かな人生を歩んでいただくためのバリアフリー旅行・介護旅行促進活動。
旅先で気軽にトラベルサポーターを利用して、いつまでも、安全で快適な旅を楽しんでいただきたい！

地域トラベルサポーター養成講座 新規受講案内(2022年2月研修分)



旅をあきらめない、旅をあきらめさせない！要介護高齢者の旅をもっと安全・快適に！

研修企画実施(主催) ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会

協賛: 大津市市民活動センター 協力: 滋賀短期大学(学校法人 純美禮学園)

いきいきとした高齢者文化の創造

ご高齢で病気やけがをしても、自分らしい豊かな人生をおくっていただくために。

本活動では、要介護高齢者及び、障がいがある方等で旅行中に配慮(介助)が必要な方が、より安全で快適な旅をしていただくために、屋外で必要な身体等の介助をする人材を養成いたします。

ユニバーサルツーリズム発展のために、今後欠かせない「地域(着地型)トラベルサポーター」をひとりでも多く輩出し、(1)旅行中における要介護高齢者への必要な介助(身体介助を含みます)による安全で快適な旅のご案内、(2)サービス利用者の旅行における経済的負担改善、(3)受入れ地域における新しい雇用の創出、(4)将来的に受入れ地域の介護事業所との連携(新規事業の創出)を推進していきたいと考えています。



◆実施概要 | 募集人員 20 名

実施日	①2022年2月19日(土)、②2月20日(日)、③2月26日(土)、④2月27日(日) 4日間(前半2日間①②・座学研修、後半2日間③④・実地研修) / 全日受講できる方が対象になります
時間	各日 9:00AM~17:00PM(昼食時間1時間) / 受付は、開始15分前から
場所	①2/19、②2/20 津都市市民活動センター / 津都市浜大津4-1-1(明日都浜大津1階) ③2/26、④2/27 平野コミュニティセンター / 津都市馬場三丁目15-45 *座学と実地研修の会場が異なりますのでご注意ください。会場内の会議室のご案内は受講者へご連絡いたします。
当日連絡先	受講者に事前連絡いたします。
受講条件	(1)介護福祉士及び、介護職初任者研修修了者・看護師・准看護師 *受講日初日に、資格を証明する書類のコピーをお持ちください (2)他の同様の団体に所属又は活動していないこと(旅行介助に関する団体や組織) (3)年齢制限はございません
服装	③④の実地研修時は、運動靴・動きやすい服装・リュックサックなどの準備をお願いいたします。(実施前にご案内します)
ご予約方法	滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科 〒520-0803 滋賀県大津市竜が丘24-4 Tel:080-3644-2584(江見) Fax: 077-523-5124(滋賀短期大学 代表) E-mail: k-emi@sumire.ac.jp 担当:江見和明(えみかずあき)
受講料金	@10,000円 受講日の1週間前までに指定口座へご入金ください(ホームページに掲載) *上記費用に含まれないもの (1)集合場所までの交通費、(2)昼食代金、(3)その他・個人的費用等 *ご入金後の返金はできませんのでご了承ください。 *3日目、4日目の実地研修(観光地内研修)は、国内旅行傷害保険に加入します(研修代に含まれます)
資格授与	研修修了者には、ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会が認証する 「地域トラベルサポーター」資格を授与いたします。
協賛	津都市市民活動センター *本研修は、一般財団法人滋賀県民間社会福祉事業職員共済会「地域共生型社会推進事業助成金」による事業です。 *通常38,000円の参加費を10,000円にさせていただいております。
協力	滋賀短期大学(学校法人 純美禮学園)
主催	ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会 事務局連絡先: yasashiitabi20150901@gmail.com
*研修企画実施	

*研修中に撮影した写真・動画を、当活動のホームページ及び SNS に掲載することがありますのでご了承ください。又、メディア(新聞・雑誌等)からの当活動における取材記事等に使用することがあります。

◆このような方にお勧めです

地域トラベルサポーター養成研修は、介助が必要な方が、安心して旅行(外出)を楽しんでいただくために必要な介助を行なうことができる人材を育成しています。また、旅行介助をするだけでなく、それらの方々の人生に寄り添い、“旅を通して、自分らしく、より豊かな人生をおくっていただくため”に“また旅がしたい!”という想いをもち続けていただけるコミュニケーションができる人材になっていただきたいと思います。



1. 家族又は友人に、要介護者がいて旅行にもっと連れて行ってあげたい。
2. 介護施設の旅行をもっと安全で快適にしたい。
3. 介護スキルをもっと向上させて、外出支援活動の仕事をしたい。
4. 地域トラベルサポーターとして(旅行介助)活動に携わりたい。

◆Q&A

Q1	Q	資格を取得したら、地域トラベルサポーターとして活動はできますか？
	A	できます。養成講座終了後に、希望者の方に、活動登録をしていただきます。地域トラベルサポーターの人材紹介活動は、2022年度以降を予定しています。(養成講座修了時に説明会を行ないます)
Q2	Q	1日でも休んだら資格はもらえないですか？
	A	はい。受講できない分(日)を再受講したのちに、修了証をお渡しいたします。(次回実施については、未定です)
Q3	Q	介護福祉士(介護職初任者研修)を受講中なのですが、参加することはできますか？
	A	はい。但し、登録カードは、資格取得後に発行いたしますのでご了承ください。当日、受講中であることを証明する書類のコピー(提出用)をお持ちください。
Q4	Q	入浴介助研修は行わないのですか？
	A	地域トラベルサポーター養成講座内では、行ないません。 修了生を対象にした「スキルアップ研修」で実施する予定です。 *首都圏以外(温泉地等)で実施の場合は、入浴介助研修を組み込んだプログラムを実施する場合があります。
Q5	Q	〇〇〇〇会社又は、△△団体のトラベルサポートの登録をしていますが、参加できますか？
	A	参加できません。



◆コロナウイルス感染拡大防止への取り組み

*コロナウイルス感染状況により、実施を延期・中止にする場合がありますのでご了承ください

1	人数制限	今回、使用する会議室からの指示により、会場定員数の半分の人数で実施いたします。隣の参加者との距離を一定に保ちながら研修を実施いたします。
2	換気	会議室の共通の換気システムが、稼働しています。また、状況に応じて出入口のドアを開けて研修を実施いたします。
3	消毒	研修実施中は、会議室で入り口付近に、消毒液を配置いたしますので、入退出時にご協力いただけます。
4	検温	参加者の皆様には、研修当日の朝(外出前)に検温を各自実施していただきます。受付時に指定名簿に、検温結果の記載をお願いします。
5	体調	発熱がある方、体調が悪い方、気分がすぐれない方等、体調が万全な方以外の参加は、ご遠慮いただいております。
6	マスク	受講生の皆さんには、マスク着用をお願いします。

1. テキストの構成／研修の内容

■座学研修／お客様のカラダのこと、旅行環境をもっと知ろう！

①お客様が、旅行に際して心配していることを事前に理解して、解決への提案したり、②抱えている日常の課題を、旅行を通して改善していくためには、もっとお客様の病気や障がいのことや、旅行環境のバリアフリー状況などを知る必要があると考えます。本研修(座学)では、最低限知って欲しい障がい・病気や最新の旅行環境の知識を学べるプログラムになっています。



1日目・2日目

オリエンテーション…(1)本講座の趣旨及び内容説明、(2)私たちが目指す共生社会とは、(3)ユニバーサルツーリズムに関するデータ紹介等

第1章	知っておきたい ユニバーサルツーリズムの基礎	ユニバーサルツーリズムを学ぶ意義、その基本理念、そして、それまでの歴史的背景(年表)について述べてあります。 ①バリアフリー観光の社会的背景(障害者白書・高齢者白書などの様々なデータ紹介) ②バリアフリー旅行の効能(効果) ③バリアフリー旅行に関する基礎概念 ④バリアフリー旅行環境の歴史(年表 1949年～2020年)
第2章	旅行環境のバリアフリー最新情報	ユニバーサルツーリズムの受入側の現状について学びます。旅行は、様々な交通機関や宿泊施設、観光施設を利用します。それぞれの場面において建築・設備の「ハード面」と人的サービスや福祉・医療面における「ソフト面」の組み合わせとなります。私たちの旅行環境は、まだまだ完全なバリアフリー化は実現していませんが、現状を知ることはとても重要なことだと考えております。 ①バリアフリー旅行の現状(バリアフリー法に基づく、公共交通機関・施設などのバリアフリー化の進捗状況) ②バリアフリー観光地情報(①宿泊施設、②旅行会社、③航空会社・空港、④船舶、⑤タクシー、⑥観光地、⑦鉄道、⑧観光バス・路線バス等) ③宿泊施設のトイレ事情
第3章	障がい別における旅行ニーズ &対応を理解する	ユニバーサルツーリズムの主な対象となる人とそのニーズについて、様々な角度から説明していきます。ここで学んでいただくことは、対象となるお客様は、“様々”であること、それぞれのお客様が旅行に対して異なるニーズがあることです。また、お客様の理解を深めるために、生活的背景についても説明をしています。 ①障がい別における旅行ニーズ (1)要介護高齢者、(2)肢体不自由者、(3)視覚障がい者、(4)聴覚障がい者、(5)内部障がい者(人工透析患者、糖尿病患者、オストメイト、ペースメーカー及びICD装着者、在宅酸素療法患者等) ②福祉用具に関する知識 (1)福祉用具からお客様の運動機能を逆算しよう！(2)旅行をもっと快適にする福祉用具紹介
第4章	ユニバーサルツーリズムの 社会的資源 (旅行代金を節約するための障害者割引を知る)	ユニバーサルツーリズムに関する法律的事柄や諸制度について学習します。実務面でバリアフリー観光に携わる場合でも、これらの法律や制度の現状を知らずに業務を進めるわけにはいきません。 ①関連法令、②障害者割引制度等
補足	①資料編・専門用語、②関連ニュース紹介	

★2日目終了後に、確認テスト(テキスト閲覧不可)を実施いたします。70点以下の方は、追加テスト(テキスト閲覧可能)を最終日までに受けていただきます。追加テストが90点未満の方は、修了証をお渡しできませんのでご了承ください。*再受講になります。

■実地研修／『また旅をしたい』と、言われるように！

屋外での車いす介助、ホテルでの入浴介助、初めて出会うお客様・・・。

地域トラベルサポーターは、このような状況においても、安全第一で快適な介助をしなければなりません。大切なことは『また旅をしたい』と感じていただけるような介助ができるか。お客様の『旅の目的』や『旅を続けることの課題』を、しっかりと把握して、目的達成や課題解決を実践しなければなりません。本研修では、屋外での介助スキルを更に向上させ、余裕のあるサポートが出来るようになります。



3日目・4日目



1	屋外での車いす介助の注意点	実際に車いすに触れながら、操作の注意点とお客様への利用案内の注意点を学びます
2	4種類の視覚障がい(者)疑似体験	全盲・視野狭窄・中心暗転・白内障の様々な見え方の体験をしていただきます。また、手引き介助のポイントも学びます。
3	高齢者(片麻痺)疑似体験	高齢者疑似体験キットを装着して、当事者目線と、介助者目線で介助のポイントを学びます。 *本プログラムでは、片麻痺の方を想定して実施します。
4	車いす介助(1)	研修施設内又は、周辺の施設を利用します。 ①悪路での操作方法、②坂道(上り・下り)での操作方法、③段差(1段 上り・下り)での操作方法 ④階段(複数段 上り・下り)での操作方法について学びます。
5	車いす介助(2)	実際の観光施設を訪れて、本番を想定した研修を行ないます。 スムーズな(快適な)車いす操作方法を学びます。

■振り返り+修了式

4日間で学んでいただいたことを、振り返っていただきます。その後、修了式を行ない、修了証等をお渡しして終了になります。

*今後の地域トラベルサポーター(人材紹介活動)についてご案内をします。活動参加を希望される方は、活動登録をしていただきます。



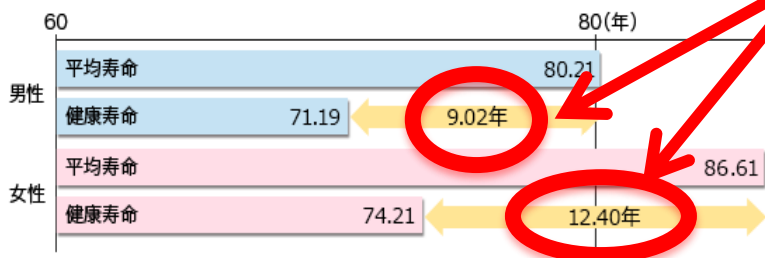
2. どうして、地域トラベルサポーターは必要なのか。

1. 健康寿命と平均寿命の要介護期間でも、より自分らしく生きるために

地域トラベルサポーターは、お客様の「旅への課題(不安に思うこと、チャレンジしたいこと)」に対して共に向き合い、旅を通して、それらを解決して、再び自信や勇気を取り戻すことで、「自分らしい、より豊かな人生をおくる」ことを目指していただくお手伝いができればと考えています。

健康寿命と平均寿命の差異期間

この期間をどう生きるか？



私たちが目指す理想の旅行商品は、加齢による病気やケガなどで、体力や運動機能が低下しても、「自分らしく、より豊かな人生」を歩んでいただけるよう、旅を通してリハビリだけでなく、家族との絆や社会との接点を実感していただけるようにしたいと考えています。また、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けた高齢社会における様々な課題解決にも貢献したいと考えています。

2. 旅行中における要介護高齢者への必要な介助で、より安全で快適な旅をご提供するために

- ①サービス利用者の旅行中における介護負担軽減
 - ②運動機能や体力に関して自信をつけさせる。(リハビリ効果)
 - ③また旅行に出かけたいと思っていただけるようにする。(リピーター)→事業推進
- また、観光や福祉関係の従事者で、これから新たに、障がいがある方の旅行に関わろうとされている方

3. サービス利用者の旅行における経済的負担改善のために

出発地からだ、交通費・宿泊費の負担が大きくなる。この課題を解決する一つ的手段として、着地(地域)での介助の仕組みを創造する。

4. 受入地域における新しい雇用の創出をするために

着地でのトラベルサポーターは、新しい働き方のひとつとして提案できる。

5. 受入地域の介護事業所との連携による新規事業の提案をするために

- ①介護事業所の新しい収入源としての新規事業になりうる。(労働条件改善)
- ②介護事業所のスタッフの新しいモチベーションになりうる。

3. 【その他の活動】海外での地域トラベルサポーター普及活動

海外旅行をもっと自由に！快適に！

国内で実施している地域トラベルサポーター養成講座による収益の一部を、東南アジアを中心とした海外での地域トラベルサポーター養成講座の実施と、寄贈を目的とした手動車いす購入に利用しています。現地日本語ガイドの雇用促進・給与水準向上とレンタル車いすサービス実施を目的とした活動です。国内旅行だけでなく、要介護者の海外旅行促進に繋げていきたいです。

(写真:養成講座の様子 | カンボジア・シェムリアップ アンコール遺跡群)

車いす寄贈/レンタル車いす事業を推進するために、車いすを寄贈しています

○2018年3月カンボジア・シェムリアップ1台

○2018年5月カンボジア・シェムリアップ1台



※アンコールワット遺跡群内を実際に車いす介助が出来るように、練習しました。

4. メイン講師紹介

伴流高志(ばんりゅうたかし)

1997年より、近畿日本ツーリスト(現、KNT-CTホールディングス)にて障がい者及び要介護高齢者を対象にした募集型企画旅行の企画・手配・添乗業務(国内だけでなく、海外60か国以上、車いすユーザー等の要介護の方をご案内)を担当。介護保険制度がスタートした2000年に介護福祉士を取得し、トラベルサポーター制度の開発を行なう。2018年より、個人向けのバリアフリー旅行から、介護・福祉・医療分野の各種企業との連携による課題解決型の新しいバリアフリー旅行の商品開発等を担当。2019年より教育旅行分野において、心のバリアフリーを促進するための学生向けの体験型プログラムも企画・提案。心身に障がいがあっても、ご高齢で体力や運動機能が低下しても、いつまでも自分らしく、より豊かな人生を送れるために旅行商品及びサービスの開発と販売促進を積極的に行なっています。



【資格】

介護福祉士(2000年取得)、福祉用具プランナー、福祉住環境コーディネーター2級、四国八十八カ所霊場会公認先達(6巡、2020年時点)、総合旅行業務取扱主任者、総合旅程管理者

【職歴】

2021年10月～ *活動エリア(首都圏→全国へ)	近畿日本ツーリスト株式会社・事業推進本部 ユニバーサルツーリズム推進担当 ⑧ 中学・高校・専門学校生向けの「心のバリアフリープログラム」の企画・販売・実施 ⑦ 新しいユニバーサルツーリズム推進活動(BtoBtoC)、課題解決型のバリアフリー旅行の開発
2019年1月～ 2021年9月	株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 ユニバーサルツーリズム推進担当 ⑧ 中学・高校・専門学校生向けの「心のバリアフリープログラム」の企画・販売・実施 ⑦ 新しいユニバーサルツーリズム推進活動(BtoBtoC)、課題解決型のバリアフリー旅行の開発
2016年6月～ 2018年12月	株式会社クラブツーリズム ユニバーサルデザイン旅行センター勤務 ⑥ 20年間のバリアフリー旅行・ビジネスモデルを大幅改善する準備期間
2015年6月～ 2016年5月	株式会社 JTB 総合研究所 ユニバーサルツーリズム推進チーム勤務 ⑤ JTB 内のユニバーサルツーリズム推進活動をサポート。 *自治体の観光推進を目的としたまちづくりなどのコンサルティング事業を実施
2008年1月～ 2015年5月	株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサルツーリズムセンター勤務 ④ あらゆる障がい者の海外個人旅行の推進と、クラブツーリズムのバリアフリー旅行・ビジネスモデルを実施*旅行介助ボランティア制度構築と人材育成を実施
2006年8月～ 2007年12月	株式会社 SPI 介護旅行事業部 ③ 介護旅行(個人旅行)の基礎を構築
2004年5月～2006年7月	株式会社クラブツーリズム バリアフリー旅行センター勤務
1997年7月～ 2004年4月	近畿日本ツーリスト株式会社クラブツーリズム事業本部バリアフリー旅行センター勤務 ② 連れて行ってもらう旅から、自分の意思で出かける旅へ。 *トラベルサポーターの仕組み作りや福祉用具レンタルサービスで安心して楽しめる旅の創造に尽力 *2000年より、トラベルサポーターサービス開発及び、人材育成を実施
1994年4月～ 1997年6月	株式会社ユナイテッドトラベルスタディサービス 旅行事業部 ① 旅行企画・販売促進の基礎を学びました。

その他	2020年～ JATA(日本旅行業協会)バリアフリー部会委員 2015年～ 任意団体ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会 事務局長 2014年度 観光庁・UTの普及促進のためのワーキンググループ委員 2013年度 観光庁・UTの普及と促進に関わる検討会委員 2010年～2013年 JATA(日本旅行業協会)バリアフリー部会委員 2005年～2007年 もっと優しい旅への勉強会副代表(1996年より加入)
-----	--

5. 団体概要

旅行会社では対応しにくい「当事者に対しての旅行への動機付け」を推進！

■ユニバーサルツーリズム推進には、(1)一般ツアーに障がいがある人でも安心して参加できる取組みと、(2)障がいがある人の状態と旅行環境に配慮した様々な旅行商品の品揃えをする取組みの2種類があります。当会では、この2つの取組みの中で、旅行会社では対応しにくい「当事者への動機付け」に関わる活動について、思いのある仲間と一緒に、様々な角度からプロジェクトに取り組んでいきたいと考えています。ひとりでも多くの旅に不安を抱えている方が、安心して快適にいつまでも旅を続けられる環境づくりを目指し、「旅を通じた共生社会の実現」に貢献します。

■ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会では、心身に障がいがあり旅することに不安を抱えている方が安心して旅(外出)を、楽しめる社会づくりに貢献したいと考えています。思いを同じくする仲間と学んだり、バリアフリー旅行情報を収集&発信したり、実際にみんなで旅に出かけてみたり…。様々な活動を通して、仲間づくりとユニバーサルツーリズム(バリアフリー旅行、介護旅行、リハビリ旅行、ユニバーサル旅行など)を推進していきたい。是非、私たちと一緒に、旅を通じた共生社会の実現を目指しませんか。

■沿革

平成 27 年(2015)	9 月 任意団体ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会設立 4 月 新潟県国際外語・観光・エアライン専門学校にて、ユニバーサルツーリズム特別講義*障害者差別解消法で旅がどのように変わるのか? 7 月 タウンミーティング in 長野県茅野市のパネリスト参加 *人生二毛作社会推進事業、多様な人々が共生できる観光地域作りを目指し、その担い手としてシニア世代の参加促進 4~9 月 長野県内介護事業者と連携した地域トラベルサポーター養成講座を始める。*第 1 回~第 6 回で 50 名受講 (10 月)快護生活フェス! in 鹿児島にてセミナー実施 *あなたは旅をあきらめていませんか?
平成 28 年(2016)	(8~10 月)長野県岡谷技専『地域トラベルサポーター人材育成研修』を介護職員初任者研修オプションとして実施 (10 月)公益社団法人鹿児島県観光連盟主催のユニバーサルツーリズムセミナー in 旅行人山荘にて講演 *ユニバーサルツーリズムの最前線 (11 月)鹿児島県奄美大島にて介護従事者向け『旅行介助研修 2 日間』を実施*ホテル客室内での入浴介助、カヌー体験、高齢者疑似体験、原生林での車いす介助など。 (12 月)クラブツーリズム株式会社にて添乗員 12 名を対象に『バリアフリー旅行・添乗員研修』 (12 月)鹿児島県バリアフリー観光振興を目的とした『鹿児島県バリアフリー個人向けモニターツアー 3 日間』実施
平成 29 年(2017)	(3 月)東京都足立区障がい福祉センターあしすととの平成 28 年度社会福祉講座『~旅のチカラ~障がいがあっても旅を楽しもう!』公演実施 (5~6 月)第 7 回地域トラベルサポーター養成講座 in 諏訪 (7~8 月)第 8 回地域トラベルサポーター養成講座 in 諏訪 (7~8 月)第 9 回地域トラベルサポーター養成講座 in 岡谷 (10 月)快護生活フェス! in 鹿児島にてセミナー実施 *要介護高齢者の旅をもっと安全・快適にする UT 最前線 (11 月)山梨学院大学にてパネラー参加『魅力ある観光地域作りとは?~2020 に向けて考える~』 (10~11 月)第 10 回地域トラベルサポーター養成講座 in 諏訪
平成 30 年(2018)	(2 月)長野県茅野市にて『地域トラベルサポーターと諏訪・信州の可能性について考える会』にて基調講演 (3 月)カンボジア・シエムリアップ(アンコール遺跡群)での地域トラベルサポーター養成講座実施(12 名受講) *車いす 1 台寄贈 (3 月)社会福祉法人至誠学舎東京・吉祥寺ホームにて講演 *旅を通して、自分らしく、より豊かな人生を (5 月)カンボジア・シエムリアップの現地旅行会社に車いす 1 台寄贈。
平成 31 年(2019)	(5~6 月)第 11 回地域トラベルサポーター養成講座 in 安曇野 (4 月)埼玉県(いきいき埼玉/彩の国いきがい大学)にて養成講座
令和 2 年(2020)	(10 月)埼玉県(いきいき埼玉/埼玉未来大学)にて養成講座を実施
令和 3 年(2021)	(10 月)長野県岡谷技専『地域トラベルサポーター人材育成研修』を介護職員初任者研修オプションとして実施

任意団体 ユニバーサルツーリズム・プラットフォーム&勉強会 (設立日:2015 年 9 月 1 日)

連絡先(メールのみ):メールアドレス yasashiitabi20150901@gmail.com 、情報発信:ホームページ(会報誌は発行しない。)